

# 職業奉仕月間によせて

今月は職業奉仕月間です。

先月、職業奉仕セミナーが終わったところですが、会長・幹事さん、また、参加者のみなさんのご理解のほどは、いかがでしょうか。

職業奉仕の概念については、そう、難しく捉える必要はありません。私たちは、職業上、「利益」を得ます。この「利益」は、本質的に、善か悪か、また、この「利益」を得る方法は、適切であったか、さらに、その「利益」は、妥当であるのかどうか、ということ、ロータリー生活の中で培った、「倫理感」をもって、常に検証しようということなのです。「利己」と「利他」の調和と言ってもいいでしょう。もっと、日本人にわかりやすく言うとするならば、「商人道」ということになります。「商人道」にかなった利益であれば、これが肯定されるという考え方であり、これが職業奉仕ということになります。

また、この「商人道」を培う場こそ、ロー

タリーの概念である「親睦活動」です。この「親睦」については、「自己研鑽」としての意味であり、自己陶冶の機会と位置付けられるものなのです。

ロータリーは、奉仕活動を主とする団体ではありませんが、奉仕活動は、自己を磨く、ひとつの場面なのです。仏教において、「掃除」などの日常所作を修業ととらえ、自己変革を重ねていくことと、同じことだと思いません。

このような人間がなす、職業活動が、いかなるものになるかは、自ら、明らかではないでしょうか。

私の職業奉仕のとらえ方は、このようなものです。

みなさんも、是非、お考えください。

ロータリーの、「入りて学び、出でて奉仕せよ。」との標語は、まさに、この精神を示しています。